

(別紙2)

節電の取組について

1 今回の地震により、東京電力及び東北電力管内の電力供給設備に大きな被害が出ており、全力を挙げて復旧作業が行われているところです。

しかし、復旧後も、発電施設の状況により供給力不足が生じることが見込まれます。このため、政府は、電気の使用に当たって極力節電するよう呼びかけています。また、東京電力は、地域ごとの計画停電を実施しています。

2 外食業界としても、このような事態に対し、店舗における節電に協力してまいりたいと思います。

1 店舗だけでの電力需要抑制は大きいとは言えませんが、業界全体で節電に取り組むことでかなりの需要抑制効果があります。また、外食産業の協力体制・姿勢を社会やお客様に示すことでも意味があります。さらに、省エネによるコスト削減にもつながります。

ぜひ、会員各社の節電に対するご理解、ご協力をお願いいたします。

〈検討例〉

- ① ネオンや大看板のサインの消灯
- ② 店舗内温度、本社・本部温度の引下げ
(1℃下げること約10%の節電)
- ③ 店舗内照明を落とす、不使用場所の消灯
- ④ 回転看板(回転ポール)の停止
- ⑤ BGM(音楽)の中止
- ⑥ 冷凍機の出口冷水温度を高めに設定
(例: 7℃→9℃にすることで約7%の節電)
- ⑦ 空調機内のフィルター類の清掃
(最大で約30%の節電)

(参考) 東京電力のホームページ

<http://www.tepco.co.jp/index-j.html>